



東北大学

平成21年4月16日

報道関係各位

東北大学大学院薬学研究科

東北大学薬学部・薬学研究科における寄附講座開設のお知らせ

東北大学薬学部・薬学研究科は平成21年4月に地域薬局学寄附講座を設置しましたのでお知らせいたします。

本寄附講座は、仙台市内を中心に調剤薬局チェーン「ひかり薬局」等を展開している株式会社オオノからの寄附により開設されたものでして、東北地方の調剤薬局およびドラッグストアなどに勤務する薬剤師の服薬指導や在宅医療における貢献度を向上させて、適正かつ充実した地域医療の実現に寄与することを目的としています。平成19年4月に施行された改正医療法において、調剤薬局やドラッグストアなどのいわゆる“薬局”は「医療提供施設」と位置づけられ、在宅医療や医療連携などを介した地域医療への貢献が強く求められています。そのため、調剤薬局およびドラッグストアなどはそれぞれ独自に薬剤師業務の充実に向けた取組を行っていますが、本寄附講座は、学術的な面からこれらの取組をバックアップして、薬剤師によるより良い地域医療への貢献の仕方を提案していきます。

具体的には、インターネットを利用した薬歴管理とそれを活用した服薬指導のための知識・技術の体系化や、在宅医療における薬剤師業務の評価システムの構築、さらには患者毎の状況を考慮した「飲み忘れ」防止指導プログラムの作成などを行います。これらによって、東北地方に特有の問題点等も明らかになるものと予想されます。また、東北地方の調剤薬局やドラッグストアなどに勤務する薬剤師を対象とした学術講習会（生涯研修会）を定期的を開催して、地域薬剤師への最新知識提供や問題提起等にも取り組んでいく予定です。

地域企業からの寄附によって地域医療の充実に学術的な側面から貢献する寄附講座を開設した例はきわめて希であり、地域に密着した調査研究等に基づいて本寄附講座から今後発信される研究成果が地域医療の充実に大きく貢献する

ことが期待されます。

この件に関するお問い合わせ先：

東北大学大学院薬学研究科長

永 沼 章

(電話 022-795-6870)

## 東北大学大学院薬学研究科「地域薬局学寄附講座」概要

### 1. 設置理由

平成19年4月に施行された改正医療法において、薬局は「医療提供施設」と位置づけられ、在宅医療や医療連携などを介した地域医療への貢献が強く求められている。そのため厚生労働省は平成20年に、都道府県などの自治体や薬剤師会に対して、地域の薬局・薬剤師の業務をより充実させるよう指導要請を行った。しかし、実際の対応やシステム構築は主として地域薬局等に委ねられており、実態調査や対応策構築に関する学術的検討の実施は困難な状況にある。そこで、服薬指導や在宅医療における地域薬局薬剤師の貢献度を向上させるための学術研究を実施するとともにそれら業務に将来携わる薬剤師を育成するために、地域薬局学寄附講座を設置する。本寄附講座の具体的研究課題としては、薬歴管理とそれを活用した服薬指導のための知識・技術の体系化とそのためのインターネットを利用した管理システムの構築による「お薬手帳」の充実と発展・普及への学術的貢献、さらには、患者による医薬品の「飲み忘れ」防止のための対応策構築のための実態調査研究などがある。

### 2. 設置年月日（設置期間）

平成21年4月1日（平成21年4月1日から平成26年3月31日）

### 3. 大学名（部局名）

東北大学（大学院薬学研究科）

### 4. 寄附講座名称

地域薬局学（オオノひかり薬局）寄附講座

Department of Community Pharmacy

### 5. 寄付者

株式会社 オオノ

### 6. 寄付者の概要

本社所在地：宮城県仙台市青葉区支倉町 4-34

資本金：6,000万円

売上高：99億3,000万円（平成20年9月末）

従業員数：364名（平成20年9月末）

事業内容：（1）薬局の経営：ひかり薬局・プラザ薬局  
（2）化粧品の販売  
（3）医療用器械・器具及び衛生材料の販売  
（4）介護用品の販売・貸与：ひかり介護用品センター  
（5）居宅介護支援事業

## 7. 担当教員

教授（兼任）	富岡佳久
客員教授	大野 武
客員准教授	山家 靖
准教授	星 友典

## 8. 研究領域の概要

### （1）研究の目的・内容

医薬分業の推進等により、薬局・薬店に勤務する薬剤師の地域かかりつけ医療における役割がこれまで以上に重要性を増している。そこで、服薬指導や在宅医療における地域薬局薬剤師の貢献度を向上させるための調査研究およびそれを支援するためのインターネットを利用した管理・評価システムの構築などを行うことによって、適正かつ充実した地域医療の実現に貢献することを目的とする。

### （2）研究課題

- ①薬歴管理とそれを活用した服薬指導のための知識・技術の体系化と、そのためのインターネットを利用した管理システム構築に関する研究。
- ②在宅医療における薬剤師の貢献度向上を目指した調査研究と、その効果を評価するためのインターネットを利用したシステム構築に関する研究。
- ③「飲み忘れ」防止など、正しい服薬のための調査研究と、対応策構築に関する研究。
- ④医薬品の性状変化や異物混入などの事象発生時の科学的検査の実施および原

因究明とその予防策に関する研究。

⑤医薬品の有効性と安全性に関する市販後調査研究。

⑥地域における薬局と医療機関との連携による医薬品適正使用の推進と地域医療への貢献。

### (3) 研究以外の業務

東北地方の調剤薬局やドラッグストアなどに勤務する薬剤師を対象とした講習会（生涯研修会）を定期的に行い、最新知識の提供や問題提起等を行う。本講集会に参加した薬剤師には日本薬剤師研修センターの研修シールを与える。

## 9. 本薬学研究科における設置意義

### (1) 現有組織の構成における本寄附講座の位置づけ

薬学研究科には薬剤師業務に関する研究教育を担当する研究室として、医療薬学教育研究センター、がん化学療法薬学分野、生活習慣病治療薬学分野および病態分子薬学分野が存在する。これら研究室は主として病院薬剤師の育成に携わっているが、本寄附講座は地域薬局（調剤薬局など）における薬剤師業務に関する研究教育を担当し、地域医療に直接貢献できる薬剤師の育成を目指す。

### (2) 現有組織の状況に照らした寄附講座設置の必要性

薬学研究科および薬学部では、医療に大きく貢献することのできる高度の知識を有した次世代型薬剤師の育成を目指して、他大学に先駆けて、平成20年度から5カ年計画で新しい教育研究体制の構築に取り組んでいる。本寄附講座の設置はこの計画の一部であり、他大学にない理想的かつ万全な体制が完成することになる。

### (3) 期待される効果

地域薬局薬剤師の服薬指導や在宅医療における貢献度を高め、地域医療の充実と医療効果の向上に貢献するとともに、地域医療に直接貢献できる学術的レベルの高いこれまでにない高度薬剤師の育成が期待される。

以上